

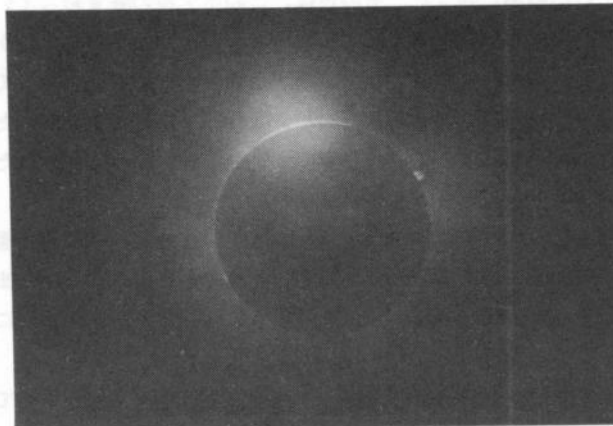
皆既中の気温と照度

松本 直弥

今回の皆既日食、私はスカイウォッチャー隊に参加し、Davao の INSULARホテルで観測を行いました。（他に大阪電気科学館のグループもありました。）当日はあいにくの曇天でしたが、皆既の前後やや雲が薄くなり、第2接触の瞬間を何とか写し止めることができました。フィリピン滞在中、18日が最も天気が悪く、全く間の悪い思いです。（インドネシア、沖縄の逆となりました。）（なお、日食情報、1987年 No. 3にある、パトリック・ムア率いるところのExplorers Travel Club 92名もおなじホテルでしたが、彼らはダバオ湾の小島 Talikud島?に出かけ、我々より良い条件で見たようです....このツアーの参加者は老人ばかり、まるで敬老会のようなものでした。）

さて、今回の日食でも気温と照度を測定した結果を簡単にグラフにしましたので、報告します。使用した温度計は安物ですが、気象庁検定付の温度計で比較校正しています。（相対変化はかなり正確です。）また、照度は横川製の照度計を使用。測定上限が3000 luxのため、ケンコー製 ND400フィルターを受光部に付け、皆既前後の>3000 luxの状態の時は直接測定していません。

前述の様に、曇ってしまったため、日食による気温の低下は1°C程度とわずかでした。また、皆既中の照度は3~4 lux（常夜灯の豆球をつけた室内くらいの明るさ、満月=1 lux）でした。インドネシア（1983年）の時より、かなり暗く感じたのは、やはり曇ったためでしょう。昨年（1986年）の沖縄金環日食の時は 3000 lux、今回はその1/1000の明るさだったわけです。



雲の中の第2接触（Davaoにて）
09h06m15（PST）

皆既日食による気温・照度の変化

Mar. 1988
in DAVAO
by N. MATSUMOTO

